

— 空き家「率」から空き家「期間」へ —

日本全国に「空き家」が増えている。

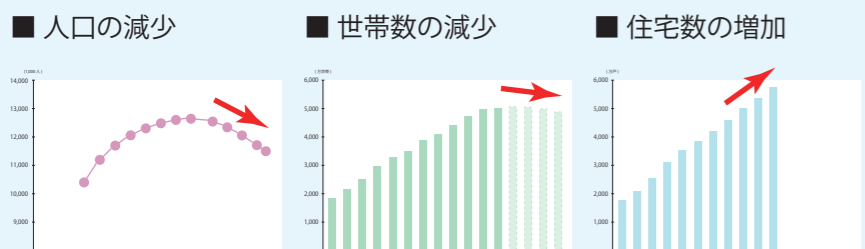
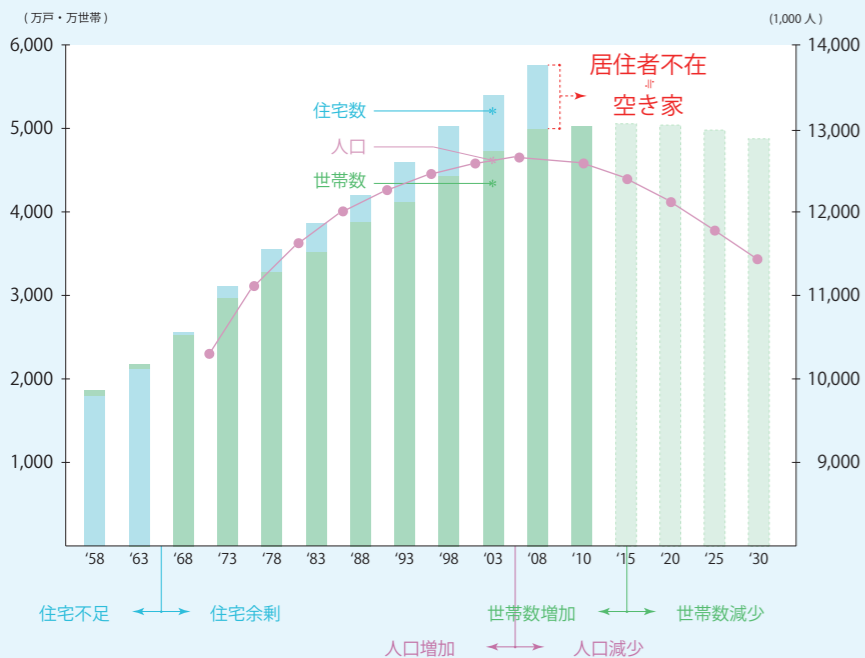
「空き家」は厄介物だ。「空き家」の『期間』が長ければ長いほどどんどん朽ち果て不気味だけでなく、防犯・防災の面からも地域住民を不安にさせる。

人口や世帯数の増加率以上に住宅を新設してきた結果、世帯数と住宅数にギャップが生じ、今や10%以上が「空き家」となってしまった。

2008年に人口が減少に転じ、2015年には世帯数も減少に転じてしまう。少なくとも「空き家」を減失させなければこのギャップは永遠に埋まらない。つまり、『率』を減らすことはできない。

問題の本質は『率』ではなく、「空き家」の状態で長い『期間』放置されることである。

では、「空き家」そのものを減らすのではなく、「空き家」である『期間』を短くし、社会的資産として活用することはできないだろうか。



総務省の「人口統計月報」によると、2008年以降、人口減少に転じた。
 世帯数は世帯人数の減少によって増加を続けてきたが、2015年をピークに減少に転じることが予測されている
 戦後の住宅不足以降、右肩上がりで増加している。1972年に世帯数を上回り、2008年には世帯数の115%に達している。



<http://p.tl/5LVR>
access here



6 利用料は管理費へ

ユーザーは『AKIYA SURFIN』へ登録されている全国の「空き家」を利用できる。利用料はオーナーへ「空き家」の管理費として渡ります。

1 「空き家」の現状

「空き家」のオーナーは活用の仕方がわからないまま放置している。取り壊せない理由は愛着があったり節税対策と様々だ。

4 こんな人が見えています

- ・移住に興味があるファミリー
- ・転々と旅するように暮らしたい流浪人
- ・普通のホテルに飽きたビジネスマン
- ・「空き家」をギャラリーにしたいアーティスト

7 相互評価

利用毎にユーザーは「空き家」の評価を、オーナーはユーザーを評価することで、「空き家」の管理状態を向上させます。

2 『AKIYA SURFING』

こうした「空き家」を『AKIYA SURFING』というWEB上のプラットフォームへ集約させる。

5 鍵の受け渡しは直接

「空き家」を利用する際の鍵の受け渡しは直接行います。オーナー（または地域住民）とユーザーが顔を合わせる機会を設けます。

3 運営は広告費で

『AKIYA SURFING』のサイトには検索に連動し、地域スポンサー企業の広告が表示される。広告費はサイトの運営費となる。

回転率がUP

空家ボランティア
雨樋清掃
草むしり
畑仕事

みんなの目が「空家」に向けられる

旅の在り方を変える

ローカルな魅力再発見

人と人とのふれあい

ミドルサーファー

スーパーミドルサーファー

キングサーファー

マスターサーファー

ビギナーサーファー

丘サーファー

